

埋文やまがた



2006年6月30日
第35号



遺跡今昔物語②

財団法人 山形県埋蔵文化財センター

YAMAGATA PREFECTURAL CENTER FOR ARCHAEOLOGICAL RESEARCH

〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301(代) FAX 023-672-5586

ホームページ：<http://www.yamagatamaibun.or.jp>

メールアドレス：kenkyuuka@yamagatamaibun.or.jp

平成18年度の事業概要

1 発掘調査事業

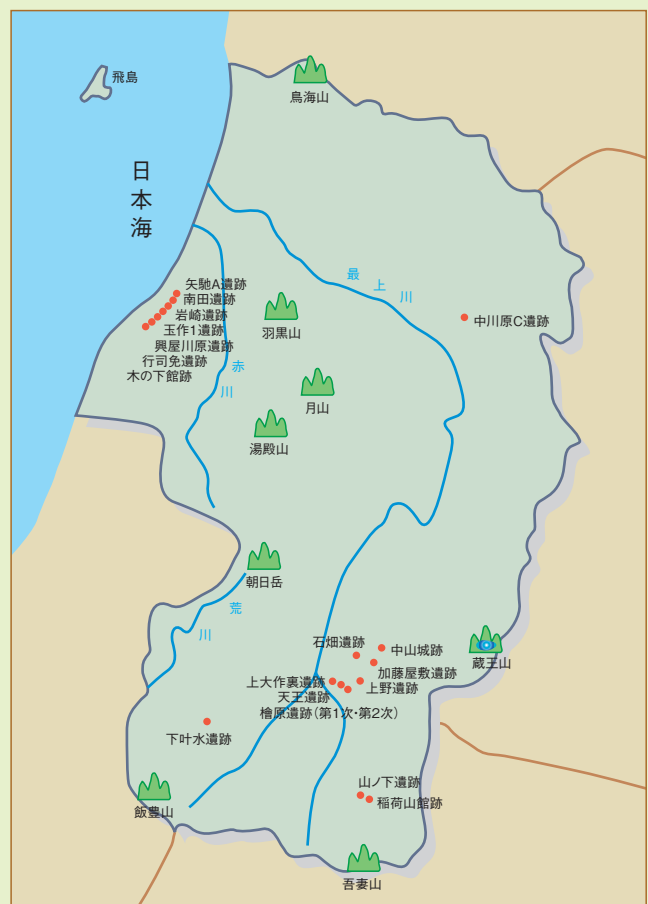
(4月1日現在)

No	遺跡名	市町村	時代区分	種別	調査期間
1	興屋川原遺跡(第3次)	鶴岡市	古墳～平安	集落跡	5/8～9/22
2	行司免遺跡(第3次)	鶴岡市	奈良・平安	集落跡	4/17～8/11
3	矢馳A遺跡(第3次)	鶴岡市	古墳～平安	集落跡	4/17～11/8
4	木の下館跡(第3次)	鶴岡市	中世	城館跡	4/17～7/26
5	玉作1遺跡(第2次)	鶴岡市	奈良・平安	集落跡	7/31～10/13
6	岩崎遺跡	鶴岡市	古墳～中世	集落跡	4/25～11/8
7	南田遺跡	鶴岡市	奈良・平安	集落跡	8/21～11/29
8	中川原C遺跡	新庄市	縄文	集落跡	5/10～7/6
9	中山城跡(第2次)	上山市	戦国・江戸	城館跡	4/24～10/31
10	上野遺跡	南陽市	縄文～近世	集落跡	5/8～6/30 9/4～9/22
11	石畑遺跡	南陽市	縄文	集落跡	5/15～8/10
12	檜原遺跡(第1次)	南陽市	奈良・平安	集落跡	8/21～9/22
13	檜原遺跡(第2次)	南陽市	奈良・平安	集落跡	5/9～9/22
14	上大作裏遺跡	南陽市	奈良・平安	集落跡	8/21～11/9
15	天王遺跡	南陽市	奈良・平安	集落跡	5/10～12/5
16	加藤屋敷遺跡	南陽市	奈良・平安	集落跡	5/17～11/2
17	下叶水遺跡	小国町	縄文・中世・近世	集落跡	5/8～11/2
18	稻荷山館跡(第2次)	米沢市	縄文・中世	集落・城館跡	7/18～8/4
19	山ノ下遺跡	米沢市	縄文	集落跡	5/9～7/13

今年度は、国土交通省・県農林水産部・県土木部からの委託を受け、19件の発掘調査を実施しています。

また、昨年度までに現地調査を終了した15遺跡について整理・報告書作成を行い、6遺跡の報告書を刊行します。

No	遺跡名	市町村	業務内容
1	亀ヶ崎城跡	酒田市	報告書作成
2	万治ヶ沢遺跡	鶴岡市	報告書作成
3	地坂台遺跡	金山町	報告書作成
4	下中田遺跡	金山町	報告書作成
5	太郎水野1遺跡	金山町	報告書作成
6	太郎水野2遺跡	金山町	報告書作成
7	川前2遺跡	山形市	報告書作成
8	上敷免遺跡	山形市	報告書作成・刊行
9	梅野木前1遺跡	山形市	報告書作成・刊行
10	上ノ山館跡	上山市	報告書作成・刊行
11	百川田遺跡	南陽市	報告書作成
12	庚壇遺跡	南陽市	報告書作成・刊行
13	中落合遺跡	南陽市	報告書作成
14	大塚遺跡	南陽市	報告書作成・刊行
15	西中上遺跡	南陽市	報告書作成・刊行



2 研究・普及事業

埋蔵文化財に関する研究と、保護思想の普及を目的とした活動を行います

(1) 調査説明会

発掘調査の成果を広く公開するために、調査を行った遺跡について現地で説明会を開きます。あわせて、出土した遺物の展示も行います。

開催日時などは、センターのホームページのほか、市町村広報誌などでお知らせします。

(2) 発掘調査報告会

12月16・17日(土・日)、山形市のビッグウイングにおいて、18年度の発掘調査報告会を開催します。県内で行われた今年度の発掘調査の成果を、写真などの映像を使って報告するほか、出土した遺物の展示も行います。

(3) 広報誌・年報の発行

広報誌「埋文やまがた」を年3回発行し、県内の学校と公民館・図書館などに配布しています。また、センターの一年間の活動内容をまとめた「年報」を年度末に刊行します。

(4) 研究紀要の刊行

今年度は、第5号を刊行する予定です。

(5) 出土文化財の保護と活用

センターでは、出土した文化財を活用するため、次のようなことを行っています。

◇小・中・高校などにセンター職員を派遣して、歴史学習や総合的な学習を支援する出前授業

◇出土した文化財や、写真等記録類の貸し出し

また、特別収蔵室(県内各地から出土した遺物の展示室)や、整理作業(遺物を接合するなどの作業)を見学することができます。

(6) 今年度の外部展示計画

◇県庁1Fロビー展示「県庁の下は縄文時代」展

◇山形空港展示

◇寒河江市花博センターハウス展示

を企画しております。ご期待ください。



調査説明会



発掘調査報告会



研究紀要



職場体験学習



出前授業



施設見学

遺跡・追跡

PART 2

センターで発掘調査する遺跡は、各種の開発事業を原因としており、調査後に新たな施設や道路、街が造られます。

現在の新しくなった風景と、発掘調査時の状況を見比べて、変貌した様子をたどってみました。

山形市 山形城三の丸跡

都市計画道路東原・村木沢線（県道18号線）の改良に伴い、平成14～16年度にかけて発掘調査を行いました。

霞城公園の南側に隣接する地区で、建物跡の柱穴や溝跡が見つかりました。

道路は随時整備されて、この6月1日に4車線での共用が開始されました。





山形市

**小松原窯跡
長者屋敷遺跡
坂ノ上遺跡**



↑ 平安時代の窯跡
(小松原窯跡、平成11年度)



← 縄文時代のロングハウス
(長者屋敷遺跡、平成13年度)

右：近世の羽州街道跡
(坂ノ上遺跡、平成13・14年度)



山形市と上山市にまたがる「蔵王みはらしの丘」(山形ニュータウン)は、現在も造成中ですが、将来的には1,700戸の住宅が築かれ、約7,000人が暮らす街になります。この丘も現代に限らず、古くは縄文時代から人々の生活の舞台となっていました。



真新しい街路が次々にできていきます



← 4月に開校した「山形市立みはらしの丘小学校」



二の丸堀跡の調査



竪穴建物跡を検出



二の丸跡で検出した遺構

東根市 小田島城跡

小田島城の二の丸部分や堀跡を調査しました。縄文時代から近世に至るまでの遺構や遺物が多数出土しました。小田島城にかかわる建物や陶磁器類が明らかになりました。



「県道神町長瀬線」として整備され経済・生活の動脈として利用されています。また、堀跡周辺が公園として生まれ変わり、歴史的な面影を残す工夫がなされました。

鶴岡市 鶴ヶ岡城跡

鶴岡城の二の丸にあたる部分を調査しました。この調査では、幅22mの堀の跡と土塁を検出しました。

また、城中で使用されたと思われる陶磁器や漆椀、曲げ物なども出土しました。



調査区全景（南から）



土塁の土留め跡



漆塗り椀の出土

発掘調査されたところは東北公益文科大学大学院及び慶応義塾大学先端生命科学研究所として新しく生まれ変わりました。

庄内地域の学術研究センターとして中心的な役割を担っています。堀があったところは鑑賞池として整備されました。



東北公益文科大学大学院・慶応義塾大学先端生命科学研究所の建物と、整備された二の丸堀跡



遺跡からの町おこし (2)

建築物編



下の土器をブロンズで型取ったものが飾られています。



渡戸遺跡出土土器（縄文時代後期約3500年前）

広域農道整備事業(村山東部地区)に伴って、平成7年度に天童市山口の渡戸遺跡が調査されました。

この調査では、縄文時代後期の川の跡が見つかり、中からはたくさんの土器や石器、おまじないに使った土偶などが発見されました。川岸にはお墓と思われる石組も見つかり、当時の人々の生活を知る貴重な発見がありました。

現在は国道48号線に接続する広域農道が開通しました。押切川に架る橋の親柱には、ブロンズ製の縄文土器が優美な姿を見せています。



渡戸遺跡の発掘調査区（上空より）

「埋文やまがた」の購読について

広報誌「埋文やまがた」購読ご希望の方は、当センターまで電話にてお問い合わせ下さい。なお、郵送料はご負担いただきます。

電話 023(672)5301 (代表)

■ 編集後記 ■

特集は「遺跡・追跡」の第2弾を載せました。これまで発掘調査を行った遺跡は、その後どのように変貌したのか追ってみました。みなさんの近くの見慣れた風景の先には、ご紹介したような営みの上になっているのです。